

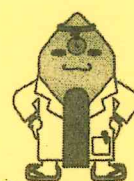
麻しん風しん混合ワクチンの 予防接種を受けましょう！



麻しん(はしか)、風しんは、それぞれのウイルスを口や鼻から吸い込むことで感染する病気です。非常にうつりやすい病気で、1人がかかると家族やまわりの人たちに広がってしまうことがあります。予防接種は最も有効な予防方法です。忘れずに接種しましょう。

令和6年度の定期接種対象者

- 第1期：生後12か月～24か月未満児(1歳～2歳未満児)
有効期限/2歳の誕生日前日
- 第2期：平成30年4月2日～平成31年4月1日生(年長児)
有効期限/令和7年3月31日まで



※ワクチンの有効期限が過ぎると任意接種となり、全額自己負担(約1～2万円)になります。

風しんの感染を予防しましょう！

妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群(眼や耳、心臓に障害が出ること)になる可能性があります。大人になって感染すると無症状～軽症のことが多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。また、無症状でも他人に風しんをうつすことがあるので、社会全体が免疫を持つこと(=抗体保有率が高いこと)が重要です。

合計2回の接種を忘れないように受けましょう！

1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%存在すると考えられます)に2回目の接種で免疫を与えます。また、1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともにその免疫が衰退した子どもたちに、再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。
予防接種で予防することが唯一の方法です。

※転入や紛失等で予診票がお手元がない場合や協力医療機関以外で接種を希望する場合には、健康増進課までお問合せください。